

令和7年度 障害者支援施設ルミエール 地域連携推進会議 議事録（公開版）

■開催日時：令和8年1月18日（日）

施設見学 10:00～11:00

会 議 11:00～12:00

■開催場所：支援センターおひさま

■出席者：

- ・施設職員 大里（施設長） 原（課長）
- ・利用者代表 Kさん
- ・ご家族代表 Yさん
- ・行政担当者（佐倉市障害福祉課）
- ・地域関係者

■議題

1. 施設のサービス内容及び重要事項説明
2. 令和7年度第三者委員懇談会の報告
3. 令和7年度の事故・ヒヤリハット報告
4. 質疑応答および意見交換

1. 施設のサービス内容及び重要事項説明

重要事項説明書に基づき、施設の事業内容及び利用料金について説明を行った。当施設では、生活介護、施設入所支援、短期入所の3事業を実施している。利用料金は食費、光熱費等の実費負担があり、加算や外出支援に関する費用についても説明した。また、苦情相談窓口として第三者委員を設置していることを説明した。

2. 令和7年度第三者委員懇談会の報告

第三者委員を交え、ご家族等との意見交換を実施した。身体機能維持に関する支援については、個別の状況に応じた日常生活動作を中心とした支援を継続していることを説明

した。日中活動の充実、情報提供の方法、健康器具の活用等についても意見が出され、安全面に配慮しながら検討を進めていく方針とした。

また、「地域移行」および「延命」に関するテーマについて意見交換を行い、本人およびご家族の思いを尊重しながら、今後も継続して話し合いを行っていく方針を確認した。

3. 令和7年度の事故・ヒヤリハット報告

本年度の事故およびヒヤリハットの発生状況について報告した。施設内で事故が発生した事例については、原因分析を行い、安全対策を強化している。

ヒヤリハットは多数報告されているが、未然防止・直前防止・被害軽減の三段階での対策を実施し、重大事故の防止に努めている。事例は日々の引き継ぎや会議で共有し、再発防止に取り組んでいる。

4. 質疑応答および意見交換

施設見学および説明を通じて、施設の運営状況や支援内容について理解が深まったとの意見があった。事故防止への取り組みや日常的な支援体制についても評価の声が寄せられた。

行政担当者からは、福祉避難所を含めた連携への謝意が述べられ、今後も施設の意見を踏まえながら施策を検討していく旨の発言があった。

全体として、施設の支援体制および継続的な安全対策に対する理解と評価が共有された。